

文学

①
9/12
(土)

宇野千代の 自伝的小説と その人生

講師:加藤 禎行 氏
山口県立大学 国際文化学部
文化創造学科 教授

②
9/29
(火)

天文

山口県の 星の和名について

講師:岩村 和政 氏
山口県立山口博物館
学芸課 主査

③
10/10
(土)

歴史

豊臣秀長の気配り ～小早川隆景・ 吉川広家との関係～

講師:田中 洋一 氏
元下関市立歴史博物館

⑤
11/10
(火)

水産学

瀬戸内の海の幸 不思議な生態から 環境まで

講師:海野 徹也 氏
広島大学大学院
統合生命科学研究科 教授

④
10/20
(火)

古典

古典文芸に 描かれる動物たち

講師:目黒 将史 氏
県立広島大学
地域創生学部 地域創生学科
国際共生コース 教授

⑥
11/17
(火)

特別企画「新科学センター見学ツアー」※第6回は無料

いこいと学びの交流テラス内の新しい科学センターの施設や展示などを職員が案内する見学ツアー
会場に集合:「いこいと学びの交流テラス」(黒磯町二丁目9番1号)

◆開催時間:13時30分～15時

◆対象:中学生以上

◆会場:岩国市民文化会館 小ホール ※第6回は「いこいと学びの交流テラス」

◆定員:各回70人

◆受講料:講座1回につき300円(資料代含む)※中高生は無料、第6回は無料

◆募集開始:8月3日(月)～ 定員になり次第締め切り

◆申込み・問合せ:生涯学習課 TEL 29-5210 または二次元コード

裏面に各講座
の説明あり



主催:岩国市教育委員会

★第1回 宇野千代の自伝的小説とその人生

宇野千代の小説『刺す』（1966(昭和41)年2月、新潮社）は、自身の結婚生活・仕事・離婚の経験の色濃く反映して書いた自伝的な私小説です。なかでも、昭和戦後期の混乱から、夫である北原武夫との夫婦関係の崩壊、経営していた雑誌社スタイル社の隆盛と破綻に至るまでが、主人公である「私」の一人称で描かれています。今回はこの小説を入り口にして宇野千代の世界をのぞいてみたいと思います。

★第2回 山口県の星の和名について

山口博物館には、山口県内の星の和名（方言）に関する聞き取り調査の記録が残されています。星の方言は、地域の人々の暮らしと星との関わりを物語っており、全国の漁村、農村を中心に昭和まで伝承されてきました。日本国内での和名の分布から過去の交流の様子がわかるかもしれません。また、中世時代頃には今と違った星空が見えていました。山口県の星の和名だけでなく、過去の星空についてもあわせて見識を深めます。

★第3回 豊臣秀長の気配り～小早川隆景・吉川広家との関係～

大河ドラマ「豊臣兄弟！」の主人公として注目される豊臣秀長は、天下人となった兄の豊臣秀吉を支えた「名補佐役」として知られています。本講座では、元就亡き後、毛利家を支えた小早川隆景や吉川広家らとの関係に注目し、当時の手紙や日記などをもとに、色々なエピソードを交えながら、秀長が見せた細やかな気配りや人間性を紹介したいと思います。

★第4回 古典文芸に描かれる動物たち

本講座では、とくに野生の動物たちを中心に扱います。動物は私たち人間の営みのすぐそばに居る存在であり、物語化しやすい存在です。平安後期（院政期）の代表的な説話集『今昔物語集』には「野猪」という動物が登場し、人間を化かそうとします。お伽草子（室町時代の物語草子）『十二類絵巻』は狸の復讐劇をコミカルに描きます。人間は動物たちをどのような存在として見てきたのか、野生動物との共生とは何かを考えたいと思います。

★第5回 瀬戸内の海の幸 不思議な生態から環境まで

瀬戸内海は海のゆりかごとして機能して、多くの魚介類を育んでいます。講座では、瀬戸内海の魚介類にスポットをあて、食の話題から、瀬戸内海を象徴するクロダイやマガキの不思議な生態を紹介します。また、最近、問題になっているマガキの大量死やクロダイの害魚化についてふれてみたいと思います。

★第6回 新科学センター見学ツアー

新科学センターを中心に「いこいと学びの交流テラス」の各エリア（①科学センター常設展示、②プラネタリウム、③その他施設全般）をそれぞれ職員が案内する見学ツアーです。新しい施設を満喫できるツアーですので是非ご参加ください。